

令和5年度 学校関係者評価委員会 委員からの評価及び意見集約

山梨秀峰調理師専門学校

評価項目	1 教育理念・目的・育成人材像 4 学修成果	2 学校運営 5 生徒支援	3 教育活動
委員からの評価及び意見		意見に対する学校側の回答	
<p>【スクールカウンセラーの配置について】 昨今では、かなりニーズが高い。非常勤でも良いのでプロの配置をお勧めしたい。そういうチャンスがあるという事を周知するだけでも救われる生徒もいる。</p> <p>【同窓会について】 卒業生も大事にしながら、そこから学校を盛り上げていくのも大切だ。卒業時LINE登録をさせてグループを作り情報をLINEで流すという方法もある。</p> <p>【離職率の高さについて】 労働内容、労働環境のミスマッチで離職してしまう卒業生が多いので、校外実習中にきちんと自分の目で見る事が大切だ。実習先を選択する際に就職を視野に入れて伝えるべき情報は全て伝えた方が良い。</p> <p>【校外実習について】 実習後に受け入れ側と学校側で話し合う機会があると良い。</p> <p>【職場での人間関係向上について】 自分の意見を言うという訓練は、授業の中で課題を出してグループで話し合わせ、自分の意見を言う、人の意見を聞く事を何回か繰り返すことをお勧めしたい。</p>	<p>現在は職員が本人及び家庭から聞き取り、必要に応じて心療内科を紹介し受診を勧めている。今後の課題である。</p> <p>他校の同窓会について調査し、本校に導入できるか検討したが、事務局の作業が膨大になってしまうので導入は難しい。できるだけ情報提供はしていきたい。</p> <p>技術習得へのやる気の低下につながるので、就職先の現場では既製品のたれ、加工野菜なども使用することもあるとは伝えていない。現場のつらさも、敢えてあまり伝えず「調理の楽しさ」を伝えるようにしている。</p> <p>実習後に受け入れ先から生徒の評価表の提出をお願いしておりフィードバックの体制は整えている。</p> <p>講師会議の時に例示をして、働きかけをしていきたいと思う。</p>		